

第9回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 10月3日(木)

テーマ 観光振興について

参加者 津山商工会議所女性会

中山 須美子さん、前原 保江さん、山本 京子さん、山本 由美子さん、
田中 勝子さん、難波 博子さん

津山商工会議所女性会の6人が、観光振興について市長と意見交換を行いました。
その概要をお知らせします。



参加者 城東地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、また、津山駅の周辺整備が進められることになり、今後一層、観光に力を注いでいく必要があると思います。

中でも、観光の核となる施設として、津山洋学資料館を全国に情報発信すべきだと思います。

市長 交流人口の増加を目指して、今後も引き続き、観光振興に力を注ぎます。津山洋学資料館では、現在、洋学を分かりやすく伝えるため、学芸員による案内付き見学ツアーを行っています。

今後は、ホームページのリニューアルやフェイスブックの活用を検討しており、さらなる情報発信を進めたいと考えています。

参加者 グラスハウスの活用策として、ランやベゴニア、山野草などを観賞できるようにし、主要な観光施設の一つとしてみてはいかがでしょうか。

市 長 グラスハウスの今後のあり方については、皆様のご意見も参考にしたいと思えます。

参加者 市が輩出した著名な画家や作家の作品を展示するための美術館を建設する考えはありませんか。

市 長 美術館の建設など文化施設のあり方と活用については「津山市文化施設検討懇談会」を設置し、関係者の意見を広く伺いたいと考えています。

参加者 津山駅周辺整備については、駅の南北を陸橋でつなげば利便性が格段に向上すると思えます。

市 長 津山駅の南北通路については、今後の整備の中で検討を進めていきたいと考えています。

参加者 子どもたちが夢を持てる、にぎわいのあるまちづくりをしていきましょう。

市 長 これからも津山が、にぎわいのあるまちになるよう取り組んでいきたいと思えます。